

## 今後の審議の進め方について

### 1. 提言の公表についての主な意見

(これまでの分科会、委員会で出された意見)

#### 記者発表について

- ・ こういう提言が出たときは記者会見をするのが慣例であるが、提言の中にニュースとしてどういうポイントがあるかをまとめる必要がある。
- ・ 報道関係者への説明は、目次に沿って書くのではなく重要なポイントをランダムに書き出すべき。できるだけわかりやすくインパクトのあるものから順に書くべき。
- ・ 記者発表用に1ページ程度にまとめたものを作成してはどうか。

#### ニュースレター、ホームページでの公表・広報

- ・ 要約版を流域委員会のニュースレターに載せるようにし、流域委員会のホームページには全文を載せてはどうか。

#### 住民等への広報

- ・ 揖保川流域で研究や勉強をしている子どもたちの発表会と合わせたシンポジウムのようなイベントを行ってはどうか。
- ・ 商工会議所等にも呼びかけて、提言を発信してはどうか。

#### 提言のタイトルについて

- ・ 「畳堤」は揖保川を特徴づけるキーワードになるので、「畳堤の精神を踏まえて」といったサブ・タイトルをつけてはどうか。
- ・ 「揖保川宣言」というタイトルで公表してみてもどうか。

#### 公表にあたり強調する点

- ・ インパクトのある提言を出すためのポイントとして下記が挙げられる。  
河川管理の一本化(国の管理する直轄管理区間、県の管理する指定区間の一本化)  
集水域を含めた環境の再生、水循環の正常化  
河川敷を含め、水中についても人の影響の及ばないサンクチュアリーづくり

### 2. 提言の公表方法

| 公表方法(案)     | 公表資料 |       |         |
|-------------|------|-------|---------|
|             | 提言本文 | 提言要約版 | 記者説明用資料 |
| 記者発表        |      |       |         |
| 流域委員会ホームページ |      |       |         |
| ニュースレター     |      |       |         |
| 希望者への郵送配布   |      |       |         |
| その他         |      |       |         |

### 3 . 提言要約版(たたき台)



「資料4」参照

### 4 . 記者説明用資料について

#### 強調する内容

参考 提言(案)の特徴的なポイント

#### 1 . 河川整備計画の全般的な考え方

国の直轄管理区間を対象とするが、県や市町の各部局と連携・協力し、推進する(No.107)

治水・利水に加え、現状以上に自然環境の整備・保全を重んずる(No.110)

生活・文化・地場産業等に特徴づけられる流域社会との連携強化(No.113)

住民と河川管理者との双方向の情報発信と共有(No.116)

歴史・文化、自然、産業、人々の精神風土が反映された揖保川らしさの発揮(No.119)

揖保川と人々とのふれあいを重視した河川整備(No.120)

長期的視野に立ち、次世代へとつなぐ河川整備(No.123)

#### 2 . 河川整備計画における分野別の方向性

##### 治水

川は氾濫するという前提に立った「洪水の絶対防御(防災)」から「洪水災害を減らす治水(減災)」への意識転換(No.127)

これまで以上に自然環境に配慮した治水事業(No.206)

ダム以外の有効な治水対策が見つからない場合を除き、ダム以外の手段による治水対策を優先(No.214)

##### 利水

ダム等による水資源開発は自然環境や流域社会への負荷が大きいため極力避ける(No.238)

利水のための取水堰等が自然環境に及ぼす影響の回避・軽減(No.143、242、264)

水需要に加え社会情勢や長期的気候変動に配慮し、柔軟性を持たせた水利権量見直し(No.144、244)

農村地域の水環境、景観を形成する農業用水の多面的機能への留意(No.248)

##### 自然環境

河原の植生が外来植物の優占する群落に置き換わるなどの課題を抱えている場合、河川の生態系の再生のため切り下げを行う(No.267)

揖保川の生態系に悪影響を与える外来種の放流や植栽は行わないことを徹底(No.270)

流域全体と播磨灘を含む長期的な展望のもとで河川本来の生態系を保全・再生(No.156)

河川整備における試行、検証・評価を繰り返しながら柔軟な対応をとる「順応的な管理」の実施(No.158、283)

河川の自浄作用による自然の回復力を期待した水質対策の推進(No.291)

#### 河川空間

- グラウンドや駐車場整備による河原の大規模な人工化は原則として認めない(No.303)
- 利用者の少ない高水敷などは自然に戻すことも視野に入れる(No.303)
- 既存のグラウンド等は水辺に緑地帯を設けるなど人が自然環境に及ぼす影響を軽減(No.303)

#### 流域社会

- 歴史文化の蓄積を生かした川づくり(No.165)
- 一人ひとりが自発的に関わることができる川づくり(No.167)
- まちづくりと連携する川づくり(No.171)
- 「畳堤の心」を生かす川づくり(No.173)

#### 情報交流

- 河川情報を上流、中流、下流の区別なく住民、NPO、事業者、自治体と自由に交流できる環境目指す(No.175)
- 21 河川整備、河川技術に関わる情報を共有する「知水」のための情報交流(No.177)

#### 連携による一体的な流域管理

- 22 直轄管理区間と、支川や水源地帯を含めた流域の一体的な管理(No.308)
- 23 ポスト流域委員会とその支援体制の整備(No.319)

### 3. 河川整備計画策定時の住民意見反映のあり方

- 「流域の声」の全面的反映(No.401)
- 上流、中流、下流ごとの意見集約、具体的な計画地点での重点的意見集約(No.402、403)
- 自治体、NPO、事業者や各種活動組織の意見聴取と調整(No.404)
- 河川管理者と流域委員会との連携によるフォーラム等の開催(No.405)

## 5 . 提言のタイトル

揖保川の流域共生圏をめざして

揖保川との共生をめざして

安全と共生のための揖保川流域づくり

畳堤のこころを生かす

揖保川ルネサンス宣言

新しい河川整備を求めて

揖保川宣言

畳堤の精神を踏まえて

揖保川水系宣言

揖保川せせらぎ宣言

畳堤のこころとともに

揖保川からの提言

揖保川から未来に向けて

揖保川から子供達へ

## 6 . 今後の審議の進め方

原案の提示について

提言提出後の審議の進め方